

大正5年5月5日木藤精一郎創立

やまゆき会会報



平成31年新年号

明けましておめでとうございます

年頭にあたりまして、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中に賜りました皆様のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。本年「やまゆき会」は創立103年目を迎えます。昨年は天変地異の多い年で、我々がホームグラウンドとする近畿の山々も例外ではなく、倒木や登山道の崩壊などにより、立ち入り禁止区域が続出し、誠に残念ながら数回もの例会が中止を余儀なくされました。かつての里山は地元の人々が山に入る機会も少なくなり、荒れるに任せているのが現状です。倒木や崩壊によって迂回するうち、道に迷って遭難事故が多発した事例がニュースになりましたが、とりわけ友好団体の遭難事故は、心に重く残る出来事でした。

当やまゆき会では、数十年前より室内例会として、全会員の登山学習を続けておりますが、高座の滝前にある「やまゆき会創始者・木藤精一郎記念碑」前に参集する5月5日の創立記念日には、各コースに於いて山中における緊急事態を想定した「救助要請方法、救急への地上誘導、心肺蘇生」など、救急訓練を恒例行事といたしました。また平成25年より「リーダーとなる例会委員」の学習例会も継続しております。昨年は六甲山地・蓬萊峡にて実施いたしましたが、安全教育、訓練の周知徹底の難しさを痛感いたしました。高齢者が高齢者を連れての登山は、高齢者なればこそその装備、歩行、緊急時の対応、心肺蘇生、簡単なロープワークなどの学習が必要と考えます。

お互いに現実を見つめ、自身の能力を過信することなく、本年も事故の無い「やまゆき会」を目指し「楽しく・安全に」山行できる様に、皆様のご協力をお願いいたします。

平成31年元旦

会 長 原田 佳忠

例 会 報 告

丹波高原：中山最高峰から大峰山（552.3m） 中級 C

11月3日(土) 晴 担当:吉井利一 参加者 12名

秋晴れに恵まれた例会になった。阪急山本駅前通路の端でコース説明と自己紹介の後、主に下半身のストレッチを行い8時30分に出発する。辰巳橋を越えうす暗い山道をゆっくり登る。満願寺分岐を左に分け、中山縦走路岩場前で小休止。初めての方もおられ、登り方や登りやすい道を説明する。

岩場は各自自分のペースで登ってもらい、上で待つがひと汗かく場所であった。全員が岩場の上で揃い、最後の方が到着して5分後に出発する。本日の行程約14キロの半分が、中山最高峰である。ゴルフ場を真下に見る眺望の良い三日月岩で360度の見晴らしを楽しみ軽いアップダウンの末、中山最高峰に到着する。スタートが早かったためか比較的空いていて、ゆっくりとしたランチタイムの時間を過ごす。

大峰山登山口への下りをスタートした直後、Hさんが脚の不調を訴えられ、登りの途中で痛めたとの事であったが、下りはどうしても痛めたところに響き、皆さんに迷惑をかけるといけなかったので、中山駅へ下山させてほしいとの申し出があった。サブリーダーをお願いしていたIさんと相談し、Iさんが中山駅まで付き添っていただけることになり、事なきを得た。

改めて10名で下りをスタートする。慎重に下り、車の往来の激しい道路では、上り、下りのスピードの出ている車に注意し、安全を確認して、狭い取り付きへは3から4人ずつ登った。大峰山への登りはきつかったが、出来るだけゆっくり休憩を取りながら進む。大峰山到着前からWさんが脚の異常を訴えられ、集団から遅れることがあったが、Kさんに付いていただき、ほぼ予定通りの時間で桜の園に到着した。



クーリングダウンをして解散とし、暖かい秋の日差しを浴びながら JR 福知山線廃線トンネルを通り、武田尾駅に向かった。

Iさんから電話にて無事Hさんを駅まで送り届けましたと、ご連絡頂きました。Iさん Kさん有難うございました。

コースタイム

阪急山本駅(8:30)～中山縦走路岩場手前(9:25-9:30)～満願寺西山三角点(9:50)～

三日月岩(10:15-10:20)～中山最高峰・昼食(11:10-11:35)～大峰山(13:05-13:15)～
桜の園(14:30)

鈴鹿山脈： 竜ヶ岳(1099.3m) 上級C

11月4日(日) 雨のち曇り 担当:藤堂尚久 参加者5名

今回はJR茨木駅西口に集合、前夜の内に借りたレンタカーに全員乗りこみ出発、宇賀溪観光案内所へは1時間半で到着。あいにく雨がぱらつき始める中での山行スタートになった。今回予定は、三重と滋賀の県境に位置し、鈴鹿セブンマウンテンの一つ、竜ヶ岳を周回縦走するというもの。距離11km、標高差870m。眺望の良い稜線歩きを楽しみ、「秋・鈴鹿の赤い羊」と形容される紅葉したシロヤシオを見に行こうという企画である。

駐車場からキャンプ場を過ぎ、売店の先を右方向へ。林道をしばらく進むと、右手に遠足尾根の登山口が見えてくる。竜ヶ岳では、この遠足尾根ルートが最も距離が長い登山道。「遠足…」という名から想像するに、緩やかで歩きやすい道かと思いきや、序盤から九十九折の急な道が続く。小雨が降り、白く霧に包まれている植林帯の中、黙々と歩を進める。登山口から45分ほどで、岩山展望台に到り、小休止をとる。視界が少し開けてきたが、急登は新道分岐まで続く。その後は、比較的平坦な道を経て、大鉢山分岐へ。展望も少しよくなり、気も軽くなるが、



ヤセ尾根、ガレ地、崖が迫っているところもあるので、足元に注意して進む。途中、降りやまぬ雨を避け、樹の下で昼食をとる。

この先は一気に前方の展望が開けた笹が茂る道となり、金山尾根の向こうに竜ヶ岳山頂部が見えるはずだが、今日はガスに覆われ見えない。短時間で金山尾根分岐を通過、さらに治田峠分岐を抜け、山頂直下の急登をひと踏ん張り。スタートから3時間半ほどで竜ヶ

岳に到着した。山頂部は四方眺望のきく広い台地になっている。好天なら、これまで登ってきた尾根や、眼前の藤原岳をはじめとする鈴鹿の山々が見渡せる。そして、シロヤシオなどの紅葉も見られたのであるが、本日は周囲、ガスで真っ白、何も見えない。

その後、雨が上がり、30人位の団体登山者が登頂、賑やかになったところで下山を開始。下りは金山尾根ルートへ。一部、粘土質の道では難儀したが、概ね、足元は安定した歩きやすい登山道であった。2時間ほどかけて下ると、魚止滝や魚止橋に出る。ここまで来ればあと少し。白滝丸太橋を渡り、林道に出て、間もなく宇賀溪観光案内所へゴール。天気に恵まれなかったが、淡々と、登山に集中し、登頂を果たした山行。結果、予定より随分早めの下山となっ

た。参加の皆さんに、山頂からの清々しい眺望を堪能してもらえなかったのは残念であった。

コースタイム

宇賀溪観光案内所(9:20)～遠足尾根登山口(9:40)～(遠足尾根)～岩山展望台(10:25-10:35)～新道分岐(10:50)～ヤセ尾根・昼食(11:40-12:00)～金山尾根分岐(12:15)～竜ヶ岳(12:40-13:00)～金山尾根分岐(13:20)～(金山尾根)～魚止滝(14:55-15:10)～遠足尾根登山口(15:20)～宇賀溪観光案内所(15:40)

大阪市： 大和川堤防歩き① 入門A

11月4日(日) 晴 担当:和気勝二 参加者 31 名

大阪の二大河川は淀川と大和川である。そのうち淀川は、以前堤防歩きシリーズとして京都までの堤防を歩いた。それで残りの大和川も堤防シリーズとして歩くことに決めた。本日がその一回目のスタートとなった。

南海本線住吉大社駅出口に集合。駅前から東には住吉大社が見えたが、以前の例会で既に拝観しているので拝観せず西の住吉公園に向かう。この公園は、明治六年に開設された大阪で最も古い公園のひとつだそうである。公園をしばらく西に進むと国道 26 号線に出合い歩道を南に沿って進む。国道 26 号線は南北に通る車で混雑しているが、それに比べて歩道を歩く人は少なく我々一行はのんびり会話を楽しんで大和川めざし歩いた。しばらく歩くと大和川大橋に到着した。



橋を渡らずここから河川敷に降り東を目指して進む。河川敷に人影は見当たらず我々だけで大和川を独占している気分であった。途中の河原で水の流れは見えず草原のようなところは何ヵ所も見られた。しばらく歩くと南海本線の鉄道橋と出会う。橋の下を通過。淡々と進む。やがて紀州街道の橋に出会う。その下を通り抜け、川の流れを見ると、草が生い茂り川の流れが草で隠されて流れが見えないところが多く見られた。淡々と歩くうち時間は少し早かったが、食事に良い場所があったので昼食をとる。

昼食を済ませると吾彦大橋の手前から大和川とわかれ進路を北にあびこ観音に向かう。あびこ観音は歴史を感じさせる立派なお寺である。お寺で拝観を済ませると長居公園に向かい、ここで解散して公園を各自散策していただくこととした。

コースタイム

南海本線住吉大社駅(10:10)～住吉公園(10:15-10:25)～国道 26 号線～大和川大橋(10:50-11:00)～大和川河川敷・昼食休憩(11:50-12:30)～吾彦大橋手前(13:05-13:25)～あびこ観音(13:50-14:15)～長居公園・解散 14:45)

六甲山地：六甲最高峰・魚谷道 中級 C

11 月 11 日(日) 快晴 担当:高木順子 参加者 13 名

雲ひとつない空高く清々しい秋晴れの朝、13 名が阪急岡本駅に参集。参加者のチェックをし、予告での歩行 4 時間 30 分を要望により 5 時間位に変更することを告げ、コースの説明・ストレッチ等は保久良神社ですることとし歩行を始める。

本山の住宅街を通り抜け、参詣道口からは急な坂道となる。ここは毎朝の散歩コースという地元の人達と朝の挨拶を交わしながら、くねくね道を 30 分程かけて登り切ると保久良神社鳥居前の石灯籠に到着。ここからは神戸の街・大阪湾を見渡すことができ、ひととき疲れを忘れさせてくれる。この石灯籠は、古代から大阪湾沖を通る目印として、今もなお毎夜点灯されているらしい。



ここから登山道に入る。神社裏手から長く続く歩きづらい階段道をしばらく上る。9 月の台風被害の倒木がとても多いが、さすが六甲山！このルートは多くのハイカーのために歩きやすく整備されているが、今でも倒木処理のチェーンソーの音が遠くから聞こえてくる。途中、金鳥山は何处？すでに通過していたことを知らされ教えていただいて地図で確認する。樹林帯を抜け、芦

屋川駅から登ってくる登山道と合流して風吹岩に至る。現在 10 時、日曜日だが出発時間を早くしていたので、この風吹岩の渋滞はこれから様子。ゆっくり展望を楽しみ、青空の下、集合写真を撮る。岩の上で撮ったあと雨ヶ峠へと向かう。横池・打越峠などの分岐を通り、ゴルフ場を横切って急坂を登りきると雨ヶ峠に到着。11 時すぎで少し早いがここで大休憩とし、東屋などでお弁当を広げる。

出発前に忘年会・上高地の例会参加の説明があり、また、登山装備のチェックは口頭で行い、保険証持参はできれば本証を、コピーなら有効期限を確認する旨の声があった。その後出発。住吉川のほとりにいったん下り、ここから標高差約 300m の長い登り道七曲りを歩く。つづら折の急登をみんな元気に登り一軒茶屋に。今日は六甲全山縦走大会の日とのこと。ここでチェックポイントのテントが張られて看板もでていた。六甲山最高峰への往復は各自自由な

ペースで歩き、記念に集合写真を撮る。

その後は、有馬温泉に至る魚屋道の見事な紅葉をたのしみながら下山。有馬温泉登山口に全員無事 Goal！初担当の例会に参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

コース

阪急神戸線岡本駅(08:30)～保久良神社(09:00-09:15)～風吹岩(10:00-10:15)～雨ヶ峠(11:10-11:35)～七曲り～一軒茶屋～六甲最高峰(12:55-13:25)～魚屋道～有馬温泉登山口(14:40)

京都西山： 太閤道 初級 B

11月18日(日) 晴 担当:諸橋勝彦 参加者 17名

室内例会の事前ハイキングのため、午前中の行程で太閤道の半分を歩くことにする。

JR 高槻駅から高槻市営バスに乗車、登山口近くの磐手橋で下車。ミーティング後歩き始めるが、平坦な道から急な上り道になる。

台風21号の影響で倒木があちこちにあり、それを跨いだり下をくぐったり頭上にも注意を配って進んで行き、25分後に金龍寺跡に到着。色づき始めた紅葉を見ながら小休止し、再び上って行くと分岐に出て尾根道になる。ここからは倒木も整備され以前のままの太閤道になっていて歩きやすくなっている。楽な気分で尾根道をしばらく進んで行くと急降下の道は一気に



麓へと続き、枯れ枝で滑りやすくなっていて足元に十分に注意し途中の雨乞の岩まで下って行く。小休止し、更に下って行くと島本高校の裏側に。自動車道を10分ほど歩いてふれあいセンターに到着する。

その後、昼食を取り午後からの室内例会に参加する。

コースタイム

JR 高槻駅(09:26)＝磐手橋バス停(09:50)～金龍寺跡(10:15-10:20)～霊園の分岐(10:55)～若山三角点(11:15-11:20)～上牧の分岐(11:30)～雨乞の岩(11:45-11:50)～島本高校(12:15)～ふれあいセンター(12:25)

室内例会

11月18日(土) 晴れ 担当:例会委員会 参加者 26名
島本町ふれあいセンターで13時より室内例会を開催した。

1. グループ討議

これまでの登山経験から、ヒヤッとした・困った・怖かった・不安だったなどの最悪の経験を出し合って、問題の原因と解決策についてグループで話し合い、様々な事例が報告された。



自然の中に入っていく以上、登山は本質的に危険なスポーツであることをよく認識した上で、個人レベルでも会としても、装備、準備、教育、集団行動など安全に関する意識を高めることの重要性を確認した。

2. マダニの危険と対策について(松川元信)

今年、六甲山の登山者にマダニが媒介する日本紅斑熱(リケッチャー症)による死亡例が報告されている。マ

ダニは他にも重症熱性血小板減少症候群(SFTS)という重大な病気を引き起こすウィルスを持っていることがある。マダニの被害を防ぐための注意について繰り返し注意喚起が必要である。

3. アイゼンの注意事項(北川隆史)

4. 意見交換

「例会担当の下見など事前準備に感謝しているが、すべて担当者の自己負担という現状は疑問。例会ごとに参加費を徴収している会もあるので参考にしたらどうか」という提起に対して、「会費を値上げしてでも、下見の費用補助を考えるべき」との意見が出て、会費の金額の妥当性に議論が移った。さらに、会報のメールによる配信を希望する人と紙ベースの会報を希望する人に意見が分かれたが、双方ともかなりの数が存在するようだった。運営諸経費の削減のために今後もインターネットを活用する方向性で認識は一致した。

5. バザー

参加者が持ち寄った登山用品・書籍などのバザーを開催。8,500円の売上金があり、会の雑収入とされた。

宇治：喜撰山 中級 C

11月23日(金・祝) 晴 担当:山田昭則 参加者 18名

京阪宇治駅に予定の時間に集合し、宇治神社の境内まで行き参加者の確認、コースの説明と準備体操をして仏徳山へ登り始めた。朝は肌寒かったが天気は上々で快適な山歩きが出来そうである。途中の展望台から宇治の市街地が望めたが、仏徳山山頂(三等三角点131.6m)は杉・桧林の中である。東の方向へ踏み跡をたよりに下って登りかえすと朝日山観音堂で、すぐ下に平等院が見えた。ここから林の中を志津川の集落までゆるい下り道である。集落を越えて神女神社で休憩の後、谷沿いの道路を喜撰山ダム湖まで1時間弱の登りである。喜撰山ダム湖は関西電力の揚水発電所の上池で、発電していると水位が大きく下がるので安全のためフェンスで囲まれている。喜撰山山頂は展望がないので少し早いがここでお弁当を食べることとした。



お腹が膨らんでいるので少し急登であるがゆっくり登り、山頂に登らず右に巻き道を行くと平安時代の歌人の喜撰法師が修行したと言われている祠である。少し急な登りを詰めて尾根に上がって登り返すと喜撰山山頂(三等三角点 415.9m)に登頂、展望もない植林の中なので集合写真を撮って下ることとした。木々の間から時々穏やかなダム湖の湖面が見渡せた。あまり登る人のいない山なので踏み跡を見極めながら下り、倒木の被害もほとんどなくダムに通じる道路に下ることが出来た。長々と道路を下り開けたところで休憩し、原田会長が登山に必要な持ち物等についてリュックから一つひとつ取り出しながら説明された。聞きながら持つておかなくてはならないものを持っていないと気づかされた。

天ヶ瀬ダムでゆっくり休憩し、再び道路を歩き宇治駅で解散とした。

コースタイム

京阪宇治線宇治駅(09:01)～宇治神社(09:10-9:24)～仏徳山(09:53-09:59)～朝日山(10:05-10:11)～神女神社(10:35-10:45)～喜撰山ダム湖・昼食(11:35-12:08)～喜撰祠(12:26)～喜撰山(12:36-12:45)～林道出合(13:05)～天ヶ瀬ダム(14:24-14:35)～京阪宇治線宇治駅・解散(15:20)

波高原東部： 箕面・二十二曲り 初級 B

11月25日(日) 晴れ 担当:北川隆史 参加者 21名

西江寺の境内にてミーティングをし、「箕面の森ハイキングマップ」(箕面駅の観光案内所で入手可能)と2万5千分1の地形図から本日のコース付近を拡大したものを配布、本日の学習テーマ(ハイキングマップを手掛かりに、現在地点を地形図上で確認しながら歩く)を説明した。



た。

紅葉狩り客で埋まった滝道を進み、コーヒー店前から左岸に渡ると人気はなくなった。姫岩のそばでトイレ休憩を取り、地獄谷道に入る。林道に出る手前辺りで、陽に透けて殊のほか美しく映える紅葉を見る。林道を渡り沢沿いの山道に入る所で休憩。地獄谷上流部を登って、再び林道に出るとオヶ原口である。

オヶ原池の西南のほとりで昼食休憩。

出発前に池の堰堤で集合写真を撮る。堰堤から南に延びる山道に入り、ハイキングマップに「三ツ石」と記された地点を探す。山道が鋭角に折れて東北方向に向かう地点に1メートル四方程度の大きな石が道の右側にあった。石は一つしかないのに「三ツ石とはこれ如何に？」とっていると、石の背後のヤブ斜面に中くらいの大きさの石が二つあるのをメンバーが発見。昔は三つ並んでいたようだ。リッジ(尾根)状をいくつかピークを越えながら伸びる気持ちのいいコースを辿ると、二十二曲りに続く南北の破線路に合流した(ハイキングマップにある「G2」ポイント)。

破線路は次の分岐から九十九折れの道となる。22回曲がるのか数えながら下る。二十二曲りは谷へと下降していき、下りきると沢沿いの道となる。左岸の道を歩いていくと、堰堤を過ぎた所で右手に巨大な岩が頭をのぞかせているのが見える。医王岩だ。そのまま道なりにヘアピンカーブを下ると医王岩の正面に出る。迫力ある巨岩の造形美を愛でながら最後の休憩を取る。

医王岩を出発するとすぐに住宅地となり、山麓線に出たところで解散とし、箕面駅まで歩く人、千里中央、茨木方面、石橋方面へとそれぞれバスで帰る人に分かれた。

コースタイム

阪急箕面駅(10:00)～西江寺(10:10-10:30)～姫岩(11:00-11:05)～地獄谷～地獄谷口(11:22-11:30)～オヶ原口(11:43)～オヶ原池(11:48-12:20)～三ツ石(12:25)～G2 ポイント(12:50-12:55)～医王岩(13:26-13:32)～白島付近(13:45)